

提案名	地域の森林資源に応答する一天然木の家長期優良モデル	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	株式会社渡邊工務店	種別	システム提案
構造	木造住宅（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

愛知県は、岐阜県の山地を上流域とする木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）の恵みを古くから享受している一方で、山地の不健康状態による洪水・水害という被害も度々受けている地域である。住宅の長寿命化は地域環境の寿命に大きく左右されるものであるため、資源および経済の継続的な地域自立循環の構築による地域環境の安定的な長寿命化を目指すことが求められる。

現在急務とされるのは、下流環境の源である上流人工林の再生であり、川下の住宅産業が第一にすべき事は、上流域の森林から多量かつ多様な木材利用を図ることを通じて、資金・人材・情報などを総合的に川上へ還元することであるが、木材の径級や強度分布という森林資源の状態や、羽柄材、板材等を含めた総合的利用などを無視した取組は長続きしない。

「地域の森林資源に応答する一天然木の家長期優良モデル」は、下記提案内容の（１）～（４）を木造等循環型社会形成に対する提案の骨子とすると共に、住宅の長寿命化に対するその他の総合的な取組を実施する。



↑東海豪雨（2000.9）の被害（名古屋市西区／庄内川）
←人工林の雪害（岐阜県美濃市）

■提案内容

(1) 上流域の木材資源の現状を踏まえた架構プランニング

調達が可能となった合法伐採の岐阜県産材「ぎふ証明材」を最大限に活用すると共に、中径木の充実、高強度の木材資源はほとんど無い、という上流域岐阜県の木材資源の現状を踏まえ、山側から無理なく調達できる寸法、強度による合理的な架構プランニングを標準化する。

(2) 羽柄材、板材、面材製品、ペレット等の総合利用による川上への還元

主要構造材だけではなく、羽柄材、板材、面材製品、ペレット等、総合的な利用拡大を図る。水平構造用面材（化粧部分）には付加価値を高めた幅はぎパネル（杉）（構造性能実証済）を、その他の

水平・垂直構造用面材（下地・耐力壁）には構造用合板を使用する。幅はぎパネルは地域の中小製材工場で作成できると共に、棚や家具への利用、桧や唐松という特注も可能であり、高い付加価値を保つことができる製品である。また、平成 23 年度より国産材 100%構造用合板が岐阜県より調達可能予定であるため、平成 23 年度以降採用する。ペレットも調達可能になりつつあるため、ペレットストーブの導入を積極的に勧める。

(3)大工、庭師との連携による技能の継承とまちなみの改善

プレカット+手刻みによるハイブリッド加工を通じて、現実的かつ波及効果も見込める大工技能の継承に取り組むと共に、予算の制約上排除されがちな外構植栽について、大工、庭師との連携による積極的な計画を行うことを通じて、まちなみの改善と大工、庭師の技能の伝承に取り組む。

(4)環境貢献度の「見える化」による、つくり手・住まい手双方の教育

ウッドマイルズ関連指標による木材の輸送エネルギーとトレーサビリティの「見える化」、自立循環型住宅関連指標による地域の環境特性を最大限に活かした住宅省エネ性能の「見える化」、という2つの手法で、木材の地産地消という環境思考、及び地域の環境特性を最大限に活かす省エネ設計手法を定着させる。



■提案者からのコメント

弊社は創業明治40年の100余年の歴史を持ち、愛知県を中心に「天然木の家」シリーズの在来木造住宅をメインとする地元中心の工務店です。耐久性の高い国産桧を使用した骨太構造の家は数多くある社寺のように100年そして200年以上住み継がれる家造りを目指しております。「天然木の家」シリーズは川上に当たる岐阜県東濃地方の桧の柱材を中心に、産地からの直接仕入れをし、構造材はもとより、内装材も無垢材の使用を心がけております。平成22年度第1回長期優良住宅先導事業への提案申請に当たり、現在の弊社のコンセプトをより深め、上流域の森林資源をより総合的な形で利用することにより、循環型社会形成に寄与できればと思っております。又、新たな取り組みとしてウッドマイルズ関連指標による輸送エネルギーの「見える化」、「住まいの健康診断書」による住宅の省エネ化、長寿命化を確保すること等により、長期優良住宅の啓発と提案を続けていきます。